

守谷市公共下水道事業 経営戦略 投資・財政計画に基づく目標値 進捗管理

投資計画

指標名	単位	算出方法	策定時 平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標 令和10年度	評価(令和5年度)
施設利用率	%	晴天時一日平均処理水量 /晴天時現在処理能力×100	68.27	67.96	67.54	67.09	69.42	66.82	66.39	≧70.00	目標値に近い値で推移しており、全国平均59.10%(令和4年度実績)よりも高く推移していることから、比較的効率的な施設利用が行えているといえる。
水洗化率	%	現在水洗便所設置済人口 /現在処理区域内人口×100	99.06	99.10	99.17	99.21	99.24	99.27	99.31	≧99.27	全国平均95.82%(令和4年度実績)よりも高く推移しており、安定的な使用料収入の確保に寄与している。
管路老朽化率	%	法定耐用年数を経過した管路延長 /下水道布設延長×100	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.45	法定耐用年数を経過した管路がまだ無いため、老朽化率はゼロとなっている。
管路改善率	%	改善(更新・改良・修繕)管路延長 /下水道布設延長×100	0.00	0.03	0.05	0.02	0.01	0.00	0.00	0.52	老朽管等の管路の更新事業については令和10年度からを予定していることから、現時点における管路改善率はゼロとなっている。

財政計画

指標名	単位	算出方法	策定時 平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標 令和10年度	評価(令和5年度)
経常収支比率	%	経常収益/経常費用×100	116.18	110.18	116.12	114.80	122.90	115.97	114.81	≧100	経常収支比率は100%以上を維持しており、令和5年度においても黒字経営となっている。今後も引き続き健全経営を継続していく。
累積欠損金比率	%	当年度未処理欠損金/(営業収益－受託工事収益)×100	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	累積欠損金は生じておらず、健全経営を維持しており、指標も0%のまま推移している。
流動比率	%	流動資産/流動負債×100	811.44	832.91	914.14	1,192.98	1,015.54	677.69	849.34	≧586	100%以上となっており、短期的な債務に対する支払能力についても問題はない。
企業債残高対事業規模比率	%	企業債現在高合計－一般会計負担金/営業収益－受託工事収益－雨水処理負担金×100	206.54	186.20	172.13	172.49	144.57	130.13	108.06	41.68	事業規模(主に下水道使用料)に占める企業債残高は、全国平均652.82%(令和4年度実績)よりも低く推移しており、令和5年度においても新たな起債も無く、健全経営を維持している。
経費回収率	%	下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)×100	124.77	112.59	151.58	127.49	138.43	122.63	124.73	121.36	経費回収率は100%を超えており、使用料で回収すべき経費を使用料で問題無く賄えている。
汚水処理原価	%	汚水処理費(公費負担分を除く)/年間有収水量	106.40	117.79	86.38	93.23	91.34	103.32	101.82	104.40	汚水処理原価は、全国平均138.29%(令和4年度実績)よりも低く推移している。今後は、費用の抑制に努め、適正な収支バランスを維持していく。
有形固定資産減価償却率	%	有形固定資産減価償却累計額/有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価×100	43.91	45.92	47.69	49.79	51.92	53.76	55.59	≦64.00	固定資産の構築から相当程度期間が経過しており、資産の老朽化が進んでいる。今後は、適切な施設の更新計画に基づき、施設の老朽化を改善していく。

※各種指標は「地方公営企業決算状況調査」を基に算出しています。
※公営企業会計における経常収支比率は100%以上で単年度収支が黒字であることを示しており、一般会計における同指標とは算出方法や判断基準が異なります。